

心豊かに
生涯学習



中之町コミセンだより

第256号

一人暮らしの高齢者に、年末のお節を届けます 今年も中之町全域で取り組まれました

「地域で一人暮らしの高齢者に、お正月のお節を届けよう！」という取り組みが、今年も中之町の各地域で行われました。取り組まれたのは上・中・下の町内会役員と民生委員の皆さんを中心としたボランティア。年末の忙しいなかで買い出しや下ごしらえを進め、大量の調理を2日かかりで行います。地域全体で延べ100人以上の方が関わりながら、85組のお節が一人暮らしの高齢者に届けられていきました。

届ける方も、届けられる方も、ほっこり笑顔の年末風景です。



出来上がったお節の一品。心を込めた食材の数々が、素敵に盛り付けされました。



左から上・中・下の各町内会の皆さん。それぞれの特色を生かしたお節作りが展開されました。



コミセンから配達に出発の皆さん。

コミセンの5講座が 小学校へ出前講座

1月15日（水）コミセンの5つの講座が、中之町小学校の3年生相手の出前講座を行いました。出前して下さったのは「太極拳」「お茶」「生け花」「折り紙」「フォークダンス」の皆さん25人。

地域の保護者でもある講座の先生方の指導は容赦がありません。「こら〇〇ちゃん。ちゃんとこっち向いて！アンタのお兄ちゃんはもっとしっかりやってたわよ！」と、いつもは騒がしい3年生たちもビシビシ仕込まれていきます。

子どもたちは2月2日（日）のPTAバザー時に自主発表の時間を取っています。それに併せて、コミセンの出前講座で体験した内容を掘り下げて研究発表。踊りや演武、お茶の振る舞いやお花、折り紙の展示も準備するそうです。みんな頑張ってるね！！



（写真左上から）
太極拳、折り紙
お茶、生け花
フォークダンス



みんな初めての体験で、なかなか形になりません。発表会までの期間、放課後に特訓です！

ハワイアンキルト コミセンで準備中の講座です♪

ハワイ独自のキルトとして発展したハワイアンキルト。

プクッと浮き上がったようなキルティングラインや左右対称のシントメリーデザイン、色とりどりの配色に目を奪われた方は多いのではないのでしょうか。また一針一針心を込めて縫うキルトにはマナ（魂）が宿るとも言われています。

ハワイアンキルトは出来上がりまでに時間がかかりますが、その分出来上がった時の気分は格別ですし作品は作った人の宝物になるでしょう。

そうしたことを心に描きながら、来年度（令和2年度）の中之町コミセン主催講座の一つとして鋭意準備中です。詳しくは三原市広報3月号で！



中央公民館で開催中の、エンジョイ・キルト講座の皆さんの作品です。



コミセンにも見本が展示してあります。一度ご覧ください♪